



ふきのとう便り

～一人はみんなのために みんなは一人のために～

2012年4月1日発行 NO. 11

社会福祉法人 ふきのとう TEL 0743-67-1099

天理市柳本町 2036 番地 1 HP <http://www.fukinotou.or.jp>

e-mail fukinotou1099@rondo.ocn.ne.jp 編集責任者 植田 豊

スタートライン



理事長 松田 勝義



平素からのご支援とご協力に深く感謝申し上げます。この度、関係するすべての皆さん方のご支援の賜物として、障害者の社

会人としての成長をバックアップするという役割と、障害者自身が身の回りを含む自立支援のレベルアップという役割との、大事で重要な二つの役割を持ったケアホーム「スパークル（輝き）」の建設が完了し、3月8日（木）竣工式に関係者多数のご臨席を賜り盛大に開催することができ厚くお礼申し上げます。

さて、これからの障害者ケアホームの果たす役割と、その存在意義について、私なりに考えてみたいと思います。

生活の拠点、生活の基であることは、言うまでもないことであり、ここでの生活のあり方が、すべての面に少なからずの影響を及ぼします。良しにつけ悪しにつけそのことが、当人たちの人格形成につながっていくのだとしたら、ここでの生活のあり方がなによりも重要な意味を持つものとなります。人格形成に影響するケアホーム「スパークル」での生活のなかで、何よりも大切なことは「話し合い」です。

「話し合い」と言っても、その程度は浅いものから深いものまで、信用できるものと出来ないもの、悩みの問題の解決に役に立つものそうではないもの、目の前がパツと開けるような話や、目の前が暗くなるような話、また、楽しい話、嬉しくなる話、悲しい話、怖い話など、多岐多様であり、話し合うことによって心と心が通い合いま

す。通い合うことによって人間関係が成立し、信頼関係が芽生え、仲間意識が生まれ、さらには連帯意識へと発展していけば、社会人としての成長も、本人が意識するしないにかかわらず身についてきます。

ここまでは、「話し合い」の大切さについて、簡単にみてきましたが、「話し合い」の本当の意味で大切なのは、目的意識をしっかりとって話し合いをするということであり、つまり答えが出るまでは繰り返し繰り返し話し合いを積み重ねること、そして話し合いで合意できた「答え」は、必ず守り実践することを徹底することが大事であります。

「決めたことは守る」「約束は守る」このことが、当たり前のようにになっていくことが、社会的ルールへの理解も深まり、社会人としての人格も備わっていくと思います。

共同生活や集団生活等が、安心・安全に営まれるためにはルールを守ることと、「話し合い」を大事にするという環境作りに、利用者・スタッフ・関係者みんなが協力しあって努力することを誓います。関係各位のみなさん、これからも暖かく見守って下さい。

ケアホーム『スパークル』完成

障害者個室型ケアホーム「スパークル」の竣工式が3月8日に開かれ、関係者ら約60人が施設の完成を祝いました。

プライバシーに配慮した自立型のケアホームで、ケアホームの1つの「モデル」になれるよう今後の運営に力を注いでいきます。

なお、同施設は財団法人 JKA からの補助金や、関係者からの寄付金、借入金、自己資金で資金調達したもので、開発申請、土地造成を含めると、合計2年半の工事期間を要した、大きなプロジェクトでした。



3/8 竣工式の様子

60余の人が出席してくれました

こんなことをしています



2011.12.24 クリスマス会
今年はカラオケ屋さんで行いました。皆楽しかったね！



2/3 豆まき
鬼は外！
カ一杯豆をまきました



2/15 ゆうあいボーリング大会
(奈良県障害者スポーツ協会主催)
やったー 8ピン倒れたよ！



3/15 恒例の月ヶ瀬の梅見
あいにく梅はまだちらほらと咲いた程度だったが、お弁当がおいしかった
バスの中でのアニメのDVDも良かった



3/8
スパークル 竣工
式当日

生活介護棟「サントアース」がオープン

生活介護棟「サントアース」が完成し3月21日メンバー、理事長、スタッフが集まり完成を祝いました。サントアースでは主に、内職や創作活動を行います。楽しい活動の場になるよう、みんなで努力しましょう。

(なお、同施設は奈良県からの補助金と自己資金で作ったものです。)

サントアース



ケアホーム入所者募集

連絡先 社会福祉法人 ふきのとう

乾 TEL0743-67-1099